

# 令和5年度 第2回 学校評価アンケート結果

羅針盤			評価				現況分析と今後の課題	
評価対象	評価項目	具体的方策	総合	生徒	保護者	教職員		
I 特色ある学校づくりに努めている。	1 特色ある教育活動を行っている。	1 地域や社会の期待を踏まえ、学校の特色化を積極的に進めている。	A 86.8%	A 82.6%	A 92.6%	A 92.1%	前回のポイントを維持している。これからも文武両道を掲げ、地域や社会に開かれた学校づくりの推進に力を入れる。	
	2 文武両道を目指し、地域や保護者の期待に応えている。	2 生徒や保護者が満足するような教育活動を進めている。	A 86.7%	A 84.3%	A 89.4%	A 94.9%	ウェルビーイングの考え方が生徒に浸透してきている。今後も、授業や学校行事などの様々な教育活動を通して、非認知能力の育成を進める。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしている。	3 生徒の実態に応じた指導を行っている。	3 学習内容の定着を図るための課題を課している。	A 85.9%	A 87.1%	A 84.3%	A 84.5%	前回のポイントを維持しているものの、授業形態の工夫が必要である。生徒の実態を的確に把握・分析することに努めるとともに、個々の能力や状況にあった指導を行う必要がある。総合的な探究の時間についても生徒の現状を踏まえて、プログラムを修正していく必要がある。	
	4 生徒は確かな学力を身につけている。	4 生徒の学力を伸ばす授業を行っている。	A 83.8%	A 84.6%	A 81.8%	A 89.8%		
	5 生徒に自主的な学習を喚起している。	5 生徒の主体性や協働性を高める授業や活動を行っている。	A 87.6%	A 85.5%	A 90.4%	A 89.8%	前回のポイントを維持している。総合的な探究の時間を中心に、アクティブラーニングの推進やICTの活用など、双方向的な授業を心掛けている。また、社会や地域との関わり合いについて主体的・協働的に考える活動を積極的に取り入れている。今後も自らが学びに向かうことのできる授業や課外活動を提案・企画していきたい。	
6 放課後などに生徒が意欲的に学習に取り組める環境や施設が整っている。	6 放課後などに生徒が意欲的に学習に取り組める環境や施設が整っている。	A 89.3%	A 89.8%	A 89.4%	A 82.2%			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしている。	6 組織的・継続的な指導を行っている。	7 生徒が社会のルールや学校の規則をきちんと守っている。	A 85.3%	A 81.8%	A 89.8%	A 93.1%	落ち着いた学校生活を送っているが、SNSに起因したトラブルが社会問題となっている。日々の指導や集会などを通して、情報を発信し注意喚起していくとともに、生徒の意識改善に努めたい。	
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っている。	8 日頃から保健に関する指導が行き届いており、健康管理に配慮されている。	A 87.8%	A 86.9%	A 88.5%	A 94.0%	環境保健部を中心に、生徒の健康管理指導を行っている。また養護担当者2名が連携しながら、生徒のサポートを行っている。学校カウンセラーへの相談を通して、心のケアについても対応している。	
	8 生徒が安心安全に学校生活を送れるよう指導や配慮ができています。	9 登校時の交通安全指導や学校生活の中で事故が起こらないよう、指導が徹底されている。	9 登校時の交通安全指導や学校生活の中で事故が起こらないよう、指導が徹底されている。	A 89.3%	A 89.9%	A 87.6%	A 95.0%	群馬県内での自転車事故が増加傾向にある。生徒の交通安全指導を更に徹底したい。校内自転車利用者のヘルメット着用率の増加について、今後も意識して指導していきたい。
		10 生徒の悩みを聞き、相談できる体制ができています。	10 生徒の悩みを聞き、相談できる体制ができています。	A 80.0%	B 79.9%	B 78.5%	A 93.0%	生徒や保護者が抱える悩みや不安を知り、それらを和らげる体制づくりを進めている。今後も職員研修などを通して、教師のカウンセリングマインドを磨いていきたい。
	9 生徒は積極的に学校行事や部活動に取り組んでいる。	11 学校行事に関して、生徒が主体的に取り組むことのできる内容になっている。	11 学校行事に関して、生徒が主体的に取り組むことのできる内容になっている。	A 88.9%	A 87.5%	A 92.3%	B 77.0%	生徒会が中心となり「藤樹祭」(文化祭)を実施することができた。生徒が心身ともに安全に、主体的・協働的に参画することができる学校行事を設定していく。
		12 部活動が活発で充実している。	12 部活動が活発で充実している。	A 95.7%	A 96.0%	A 95.1%	A 96.0%	運動部、文化部ともに多くの生徒が参加しており、大会やコンクールなど大きな成果を上げている。
13 生徒がいじめについて考えたり、話し合ったりする機会を作っている。		13 生徒がいじめについて考えたり、話し合ったりする機会を作っている。	B 75.1%	B 73.8%	B 75.2%	A 89.9%	いじめについてのアンケートを行うとともに、いじめについて考える「いじめ防止フォーラム」を継続して実施している。今後も、いじめは絶対許さないという体制づくりに重点を置き、更なる改善を図りたい。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な進路指導を行っている。	14 生徒が進学に向けて意欲的に取り組めるような講座や補習などが行われている。	A 87.3%	A 90.0%	A 84.8%	B 73.7%	年度当初より、土曜講座や長期休業中の集中講座、外部講師による講座など、生徒の状況に合わせて講座を行っている。今後も、講座内容や講座形式について検討を重ねていきたい。	
	11 適切な進路情報を提供している。	15 進路講演や高大連携事業、大学見学会などを通し、進路検討に役立つ機会が設けられている。	A 92.3%	A 93.8%	A 90.0%	A 93.0%	コロナによる影響も減り、外部講師を招いた職業や大学進学に関わる講演会の実施を検討したい。また、県内外で行われる高大連携事業や大学相談会なども積極的に参加を促したい。今後も進路企画の充実を図りたい。	
	12 生徒それぞれの進路実現のために個別指導を行っている。	16 進路相談や小論文指導、面接練習指導などが手厚く行われている。	A 86.5%	A 90.2%	B 79.5%	A 97.0%	前回よりもポイントが上昇している。今後も小論文指導や面接練習指導、一般受験に向けた個別指導を徹底して行い、生徒の進路希望の実現を進めたい。また、研修等を通して、教師の指導スキルの向上に努める。	
	13 資格取得や検定対策を行っている。	17 検定を受験する機会を設け、検定対策指導が行われている。	A 86.7%	A 90.5%	A 80.9%	A 85.9%	英語検定や漢字検定、数学検定などの各種検定の受験機会を数多く設定し、検定取得に向けた事前指導やサポートを行っている。今後も取得率を高めるための効果的な対策を検討していく。	
V 開かれた学校づくりに努めている。	14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしている。	18 ホームページから必要な情報が得られ、学校の様子がよくわかる。	A 86.6%	A 87.1%	A 85.5%	A 89.1%	学校生活の様子や本校の魅力が家庭や地域社会に伝わるように、情報発信を進めている。	
	15 保護者との連携をもって教育活動を効果的に推進している。	19 生徒から保護者へ学校の様子が伝わっており、学校の配布物がきちんと届いている。	19 生徒から保護者へ学校の様子が伝わっており、学校の配布物がきちんと届いている。	A 84.9%	A 88.7%	B 78.6%	A 88.0%	生徒・保護者ともにClassiの利用率が向上し、Classiを利用した連絡が保護者の間でも浸透してきている。今後も、Classiや保護者宛通知を併用し、情報が適切に届くように工夫していきたい。
		20 「Classi」(学校一斉配信メール)で重要な情報が保護者にきちんと伝えられている。	20 「Classi」(学校一斉配信メール)で重要な情報が保護者にきちんと伝えられている。	A 96.0%	—	A 95.7%	A 98.0%	
		21 PTA活動を通して保護者も学校の教育活動に参画することができる。	21 PTA活動を通して保護者も学校の教育活動に参画することができる。	A 82.2%	—	A 82.1%	A 83.0%	

備考:

1) 2023年(令和5年)12月実施

2) 有効回答数-生徒1260名(97.6%)・保護者824名(63.8%)・教職員101名(96.2%)